

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	間質性肺炎急性増悪における早期酸素化レスポンスと予後の関連に関する後ろ向き研究
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 呼吸器内科学 高原 豊
研究参加拒否 申込受付期間	2026年6月30日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までをお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日
対象者	2021年1月～2024年1月までの間に、当院呼吸器内科で間質性肺炎の診断を受けられた方
当該研究の意義・ 目的	間質性肺炎急性増悪は予後不良な病態であり、特に呼吸不全を伴う場合は高い死亡率が報告されています。これらの症例に対する治療としてステロイド療法が広く行われていますが、その治療反応性は症例ごとに大きく異なり、最適な治療戦略や予後予測は十分に確立されていません。特に、臨床現場においては治療反応を早期に評価する手段が求められています。本研究の目的は間質性肺炎急性増悪患者において、ステロイド治療後早期の酸素化レスポンスと短期予後との関連を明らかにすることです。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	本研究では、急性増悪を呈した間質性肺炎に対して、ステロイド治療後3～5日における酸素投与量および酸素デバイスの変化に基づき、酸素化の改善を認めた方と改善を認めなかった方に分け、両群における臨床背景および予後を比較し、さらに予後に関連する因子について検討します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。 情報：年齢、性別、喫煙歴、在宅酸素療法の有無および治療内容。 試料：発症前7日以内の血液検査所見(WBC、CRP、LD、KL-6) 得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。この研究ではゲノム情報の取扱いはありません。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研 究対象者等の求め	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますの

に応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	でお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 呼吸器内科学 高原 豊 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211

作成日：2026年4月4日